

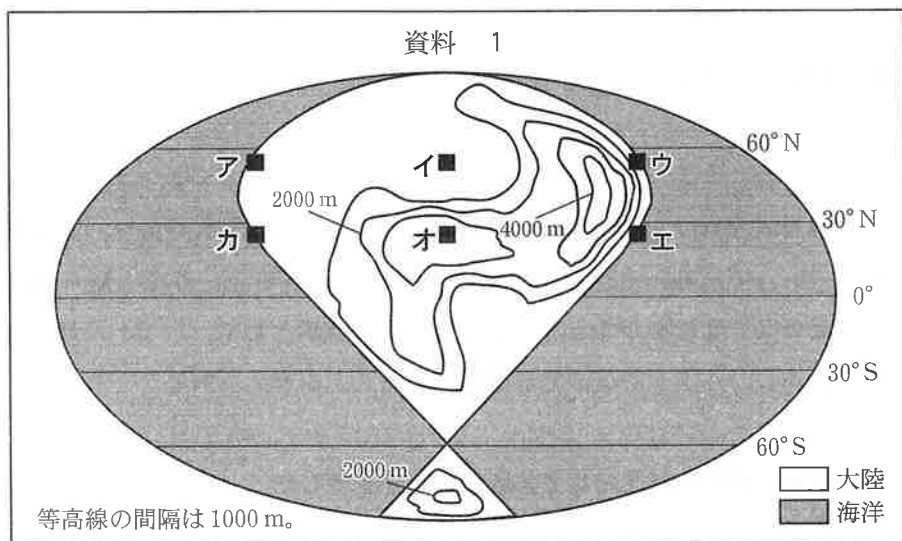
地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 世界の自然環境に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

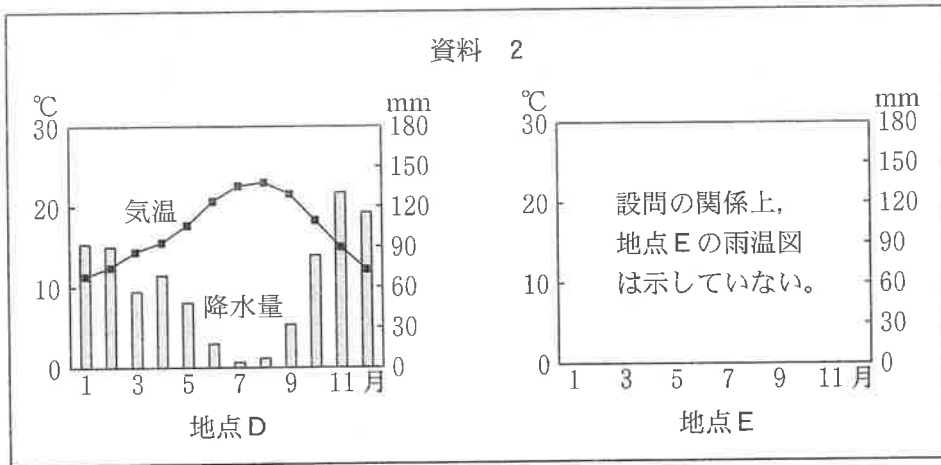
A 地理の授業で世界の気候と自然災害について学んだコハルさんのクラスは、気候の成り立ちやその変動の影響について各班で探究することにした。世界の気候と自然災害に関する次の問い(問1～3)に答えよ。

問1 各地の雨温図の特徴に影響を与える気候因子を確認するために、コハルさんの班は、仮想的な大陸と等高線および地点ア～カが描かれた次の資料1を先生から渡された。これらの地点から2地点を選択して雨温図を比較するとき、海からの距離による影響の違いが強く現れ、それ以外の気候因子の影響ができるだけ現れない組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



- ① アとイ ② イとウ ③ エとオ ④ オとカ

問 2 次に、コハルさんの班は、ある地点DとEの二つの雨温図が描かれた次の資料2を先生から渡されて、雨温図に示された気候の特徴とその原因となる大気大循環について話し合った。下の会話文中の空欄サとシに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2



気象庁の資料により作成。

コハル 「地図帳で調べてみると、地点DとEはどちらも沿岸にあり、地点Eは地点Dからほぼ真南に約800km離れているようだね」

イズミ 「最暖月や最多雨月は、それぞれ両地点で現れる時期がほぼ同じだね」

ミツハ 「地点DとEが位置する緯度帯では、降水量が多い時期の雨は、主に(サ)という気圧帯の影響を強く受けていることを授業で習ったよ」

コウ 「月降水量30mm以上の月が続く期間に注目すると、地点Eの方が地点Dよりも(シ)のは、この気圧帯の移動を反映していると考えられるね」

	①	②	③	④
サ	亜寒帯低圧帯 (高緯度低圧帯)	亜寒帯低圧帯 (高緯度低圧帯)	熱帯収束帯 (赤道低圧帯)	熱帯収束帯 (赤道低圧帯)
シ	長い	短い	長い	短い

地理B

問 3 コハルさんたちはまとめとして、気候変動などに関連した世界各地の自然災害の原因について、各班で調べてカードに書き出した。次の a ~ d は、タカシさんの班とコハルさんの班のカードであり、次ページの会話文は、その内容について意見交換したときのものである。会話文中の空欄タには a と b のいずれか、空欄チには c と d のいずれか、空欄ツには次ページの文 G と H のいずれかが当てはまる。空欄タとチのそれぞれに当てはまるカードと、空欄ツに当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、次ページの①~⑧のうちから一つ選べ。

3

カード

【タカシさんの班が調べた災害】 タイで雨季に起こった大洪水

a

河川上流域での森林減少による水
源涵養機能の喪失

かんよう そうじつ

b

低緯度地域で発生した熱帯低気圧の
襲来

【コハルさんの班が調べた災害】 東アフリカで飢餓をもたらした大干ばつ

c

貯水・給水施設の不足や内戦に伴う
農地の荒廃

d

ラニーニャ現象を一因とした大気
の循環の変化

地理B

タカシ 「自然災害には複数の原因があり，“災害のきっかけ”と“災害に対する弱さ”に分けられそうだよ」

コハル 「なるほど。そうすると，“災害に対する弱さ”に対応するのは，タイの洪水についてはカード(タ)，東アフリカの大干ばつについてはカード(チ)だね」

タカシ 「被害を軽減するためには，“災害に対する弱さ”への対策を講じるとともに，“災害のきっかけ”が起こる状況を事前に知っておく必要があるそうだね」

コハル 「タイの洪水については，例えば，タイの雨季に降水量が多かった事例と(ツ)事例とで周辺の気圧配置や気流などを比較すると，タイでの“災害のきっかけ”を考えるヒントが得られそうだよ」

(ツ)に当てはまる文

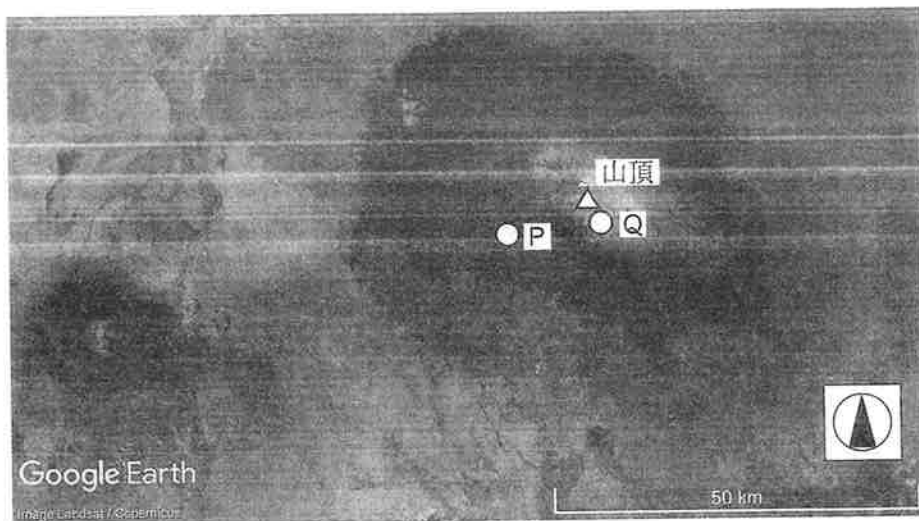
G 雨季に降水量が少なかった

H 乾季に降水量が多かった

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
タ	a	a	a	a	b	b	b	b
チ	c	c	d	d	c	c	d	d
ツ	G	H	G	H	G	H	G	H

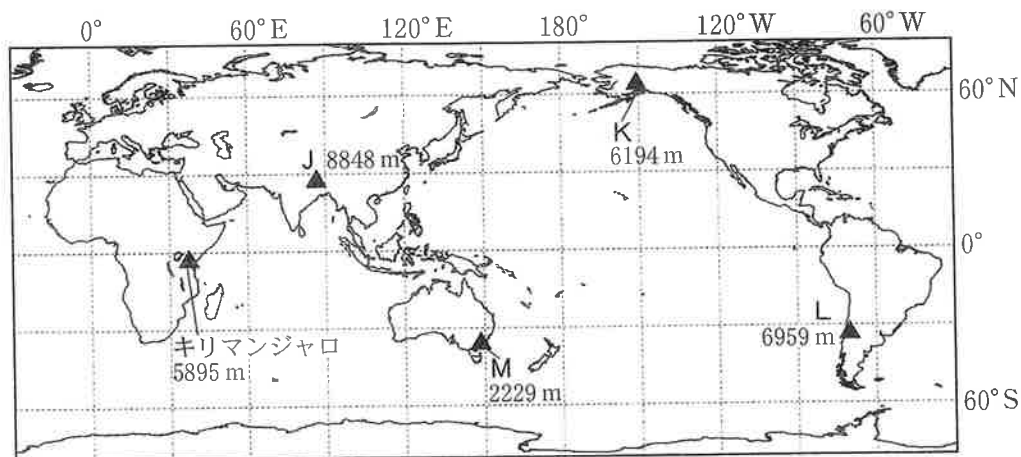
地理B

B 地理の授業で、世界の代表的な山を教材に取りあげて、世界の自然環境やその変化を考えることにした。次の図1と下の図2を見て、下の問い(問4～6)に答えよ。



Google Earthにより作成。

図 1



『理科年表』などにより作成。

図 2

問 4 次の先生と生徒たちの会話文中の空欄マとミに当てはまる正しい数字を、下の①～④のうちから一つずつ選べ。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。マ ・ ミ

先生 「学校の休みを利用して、図1に示したアフリカ大陸最高峰のキリマンジャロに登ってきました。キリマンジャロは、標高が5895 mで、山頂付近には小規模な氷河がある火山です。図2はキリマンジャロと、ユーラシア、北アメリカ、南アメリカ、オーストラリアの各大陸における最高峰の山J～Mの位置と標高を示しています。図1や図2からどのようなことが考えられるでしょうか」

アズサ 「現在の変動帯に位置している山は、山J～Mの中で(マ)つあります」

チヒロ 「氷河が分布している山は、山J～Mの中で(ミ)つあります」

先生 「なるほど。みなさん様々な視点から山をとらえることができますね」

① 1

② 2

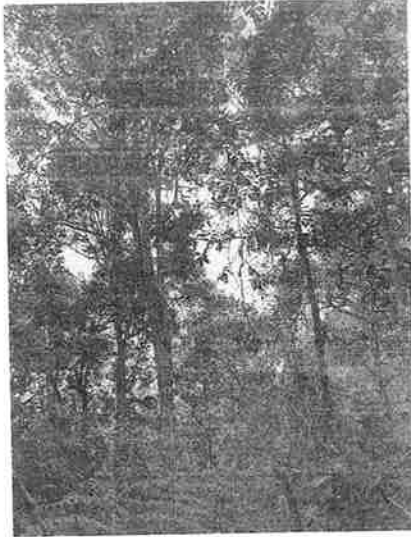
③ 3

④ 4

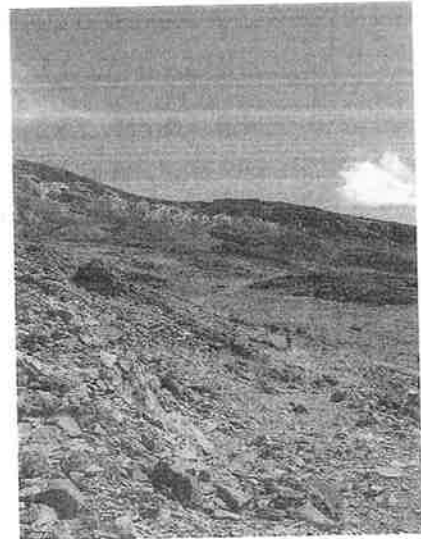
地理B

問 5 次の写真1は、図1中の地点PとQで先生が登山中に撮影したものであり、下の生徒たちの発言ヤとユは、写真1を見て両地点の自然環境を比較したものである。生徒たちの発言ヤとユの内容について誤りを含むものをすべて選び、その組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

6



地点 P



地点 Q

写真 1

生徒たちの発言

ヤ 「森林の有無は降水量のみで決まるので、地点Pの方が地点Qに比べて降水量が多いと考えられます」

ユ 「標高が高くなるにつれて気温は下がるので、地点Pは地点Qよりも気温が高いと考えられます」

- ① ヤとユ
- ② ヤ
- ③ ュ
- ④ 誤りを含むものはない

問 6 生徒たちは、世界の山岳氷河の中に、急激に縮小しているものがあることを教わった。そこで、氷河の縮小に伴って、氷河に覆われた流域から流出する水の構成要素やその変化、それが生活に与える影響を調べ、次の資料3に模式図としてまとめた。資料3中の空欄ラには下の図3中のf～hのいずれか、空欄リには下の文XとYのいずれかが当てはまる。空欄ラとリに当てはまる図と文との組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

7

資料 3

氷河縮小の初期

氷河縮小のピーク期

ラ

氷河の消失

流出する水の構成要素

- 氷河が融けた水
- 雪が融けた水
- 雨水
- 地下水

- ・ 氷河縮小の初期からピーク期にかけては、(リ)と予想される。
- ・ 氷河の消失は流域の貴重な水源を失うことにつながる。

IPCC の資料などにより作成。

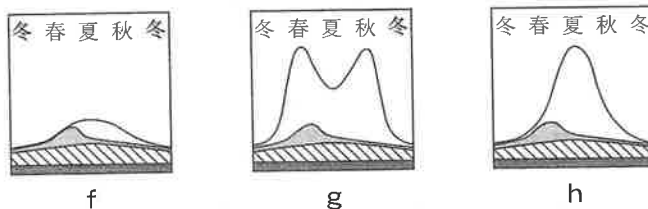


図 3

- X 発電や農業などに利用できる水の量が一時的に増える
- Y 氷河が融けた水によって発生する洪水の頻度が減少する

	①	②	③	④	⑤	⑥
ラ	f	f	g	g	h	h
リ	X	Y	X	Y	X	Y

地理B

第2問 産業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の表1は、小麦の主要輸出国について、小麦の生産量、小麦の1 ha 当たり収量、国土面積に占める耕地の割合を示したものであり、A～Cは、アメリカ合衆国、フランス、ロシアのいずれかである。また、下の文ア～ウは、表1中のA～Cのいずれかにおける小麦生産の特徴と背景について述べたものである。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

8

表 1

	小麦の生産量 (百万トン)		小麦の1 ha 当たり収量 (トン)	国土面積に 占める耕地 の割合(%)
	1997年	2017年		
A	67.5	47.4	3.1	17.5
B	44.3	86.0	3.1	7.5
C	33.8	38.7	7.3	35.5

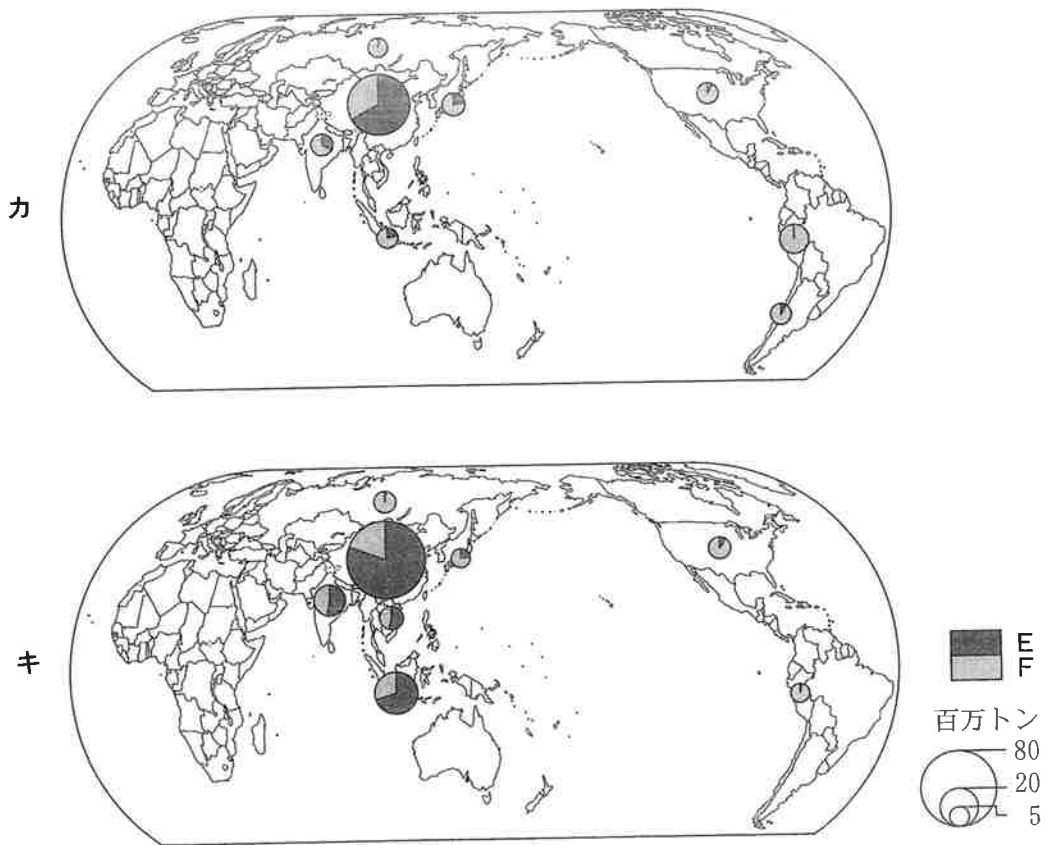
統計年次は2017年。FAOSTATにより作成。

- ア 生産活動の自由化が進められ、大規模な農業企業が増加した。
- イ 農村振興のために、補助金を支払う政策が推進された。
- ウ バイオ燃料や植物油の原料となる他の穀物との競合が生じた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の図1中のカとキは、2000年と2017年のいずれかについて、漁獲量*と養殖業生産量の合計の上位8か国を示したものであり、凡例EとFは、漁獲量と養殖業生産量のいずれかである。2017年の図と養殖業生産量の凡例との正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

*養殖業生産量を含まない。



中国の数値には台湾，ホンコン，マカオを含まない。FAOSTAT により作成。

図 1

	①	②	③	④
2017年	カ	カ	キ	キ
養殖業生産量	E	F	E	F

地理B

問 3 工場は、原料や製品の輸送費が小さくなる地点に理論上は立地するとされている。次の図2は、原料産地から工場までの原料の輸送費と、市場で販売する製品の輸送費を示した仮想の地域であり、下の条件を満たす。また、図2中の①～④の地点は、工場の建設候補地を示したものである。総輸送費が最小となる地点を、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

10

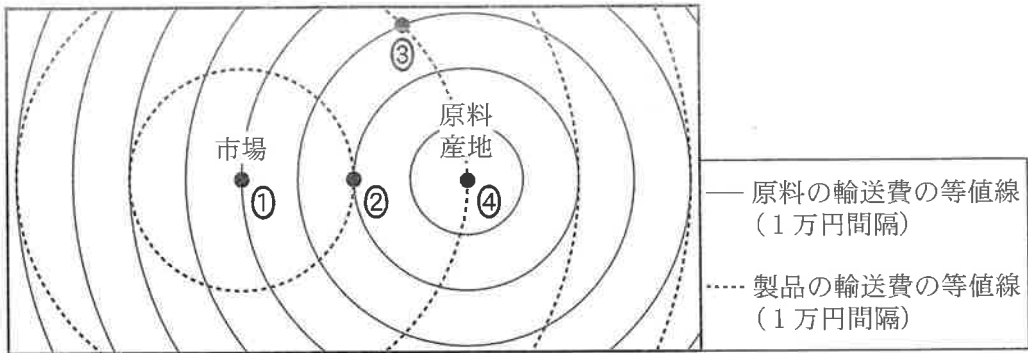


図 2

条 件

- ・使用する原料は1種類であり、原料産地から工場まで原料を輸送し、工場で生産した製品を市場まで輸送する。
- ・総輸送費は、製品1単位当たりの原料の輸送費と製品の輸送費の合計である。
- ・輸送費は距離に比例して増加し、距離当たり輸送費について、原料は製品の2倍の費用がかかる。
- ・市場や原料産地にも工場を建設できる。

問 4 工業の立地には原料や製品の輸送費が影響し、主な原料が同じであっても製品の性質によって工場の立地パターンが異なる場合がある。次の文サ～スは、飲用牛乳、バター、アイスクリーム*のいずれかの輸送費について述べたものであり、下の表2中のJ～Lは、東日本に立地する工場数をそれぞれ地域別に示したものである。サ～スとJ～Lとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

*乳脂肪分8%以上のもので、原料は生乳のほかクリーム、バター、脱脂粉乳など。

- サ 製品に比べて原料の輸送費が多くかかる。
- シ 原料と製品の輸送費はほとんど変化しない。
- ス 原料に比べて製品の輸送費が多くかかる。

表 2

	J	K	L
北海道	51	29	4
東北	50	6	17
関東	60	11	26

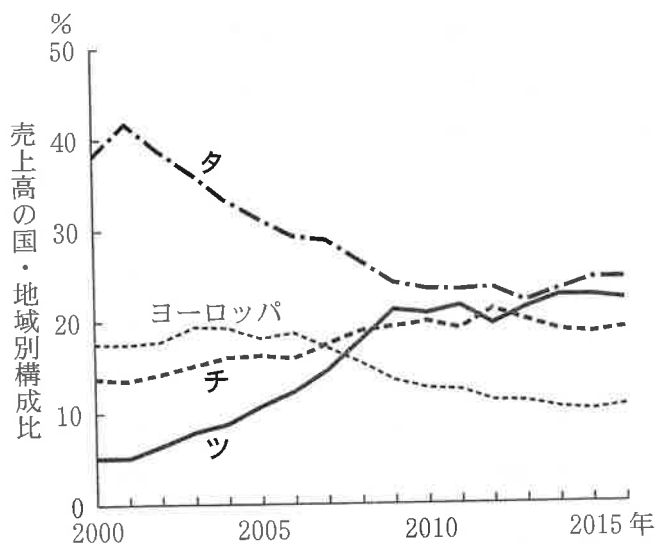
年間生産量5万リットル未満のアイスクリーム工場は含まない。
統計年次は2018年。『牛乳乳製品統計調査』により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	J	J	K	K	L	L
シ	K	L	J	L	J	K
ス	L	K	L	J	K	J

地理B

問 5 日本の企業は、経済のグローバル化に伴い、海外への直接投資を積極的に増やしてきた。次の図3は、日系海外現地法人の売上高のうち、製造業の売上高について主な国・地域別の構成比の推移を示したものであり、タ～ツは、ASEAN*、アメリカ合衆国、中国**のいずれかである。国・地域名とタ～ツとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

*インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシアの4か国の値。
**台湾、ホンコン、マカオを含まない。



経済産業省の資料により作成。

図 3

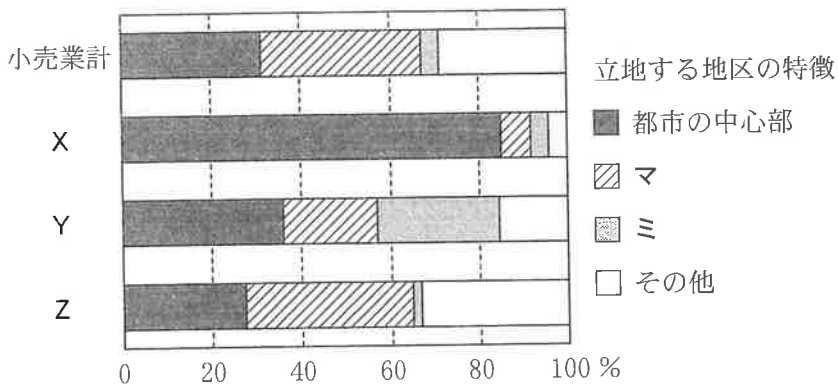
	①	②	③	④	⑤	⑥
ASEAN	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
アメリカ合衆国	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
中国	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

地理B

問 6 次の図4は、日本のいくつかの商業形態の店舗数について、立地する地区の特徴別の割合を示したものであり、X～Zは、大型総合スーパー*、コンビニエンスストア、百貨店のいずれかである。また、図4中の凡例マとミは、住宅街とロードサイド**のいずれかである。コンビニエンスストアとロードサイドとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

*衣食住にわたる各種商品を販売し、売場面積3,000 m²以上(特別区及び政令指定都市は6,000 m²以上)のもの。

**国道など主要道路の沿線。



都市の中心部は、駅周辺と市街地の商業集積地区およびオフィス街地区。
統計年次は2014年。商業統計表により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
コンビニエンスストア	X	X	Y	Y	Z	Z
ロードサイド	マ	ミ	マ	ミ	マ	ミ

地理B

第3問 都市と人口に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 都市は、社会・経済的条件だけでなく、様々な自然条件のもとで立地している。下の図2中の①～④は、図1中のア～エのいずれかの範囲における人口100万人以上の都市の分布を示したものである。イに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 14

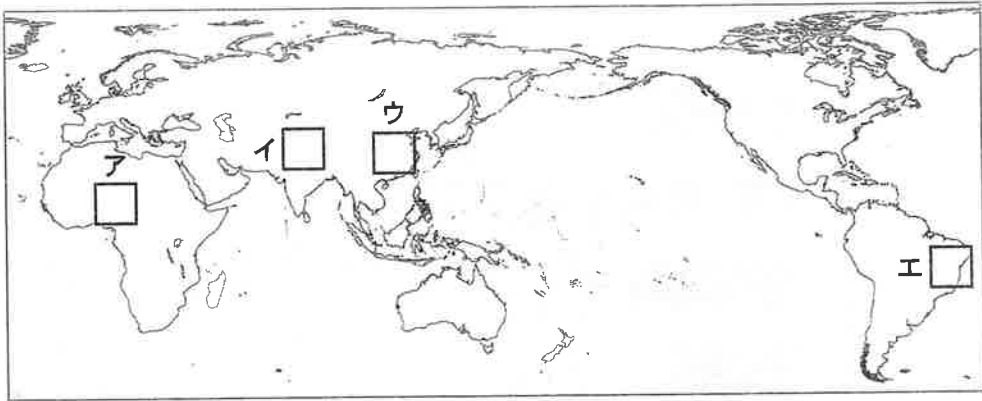
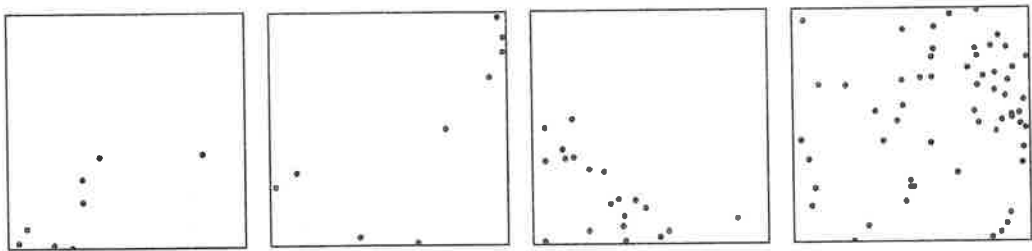


図 1



・人口100万人以上の都市

①

②

③

④

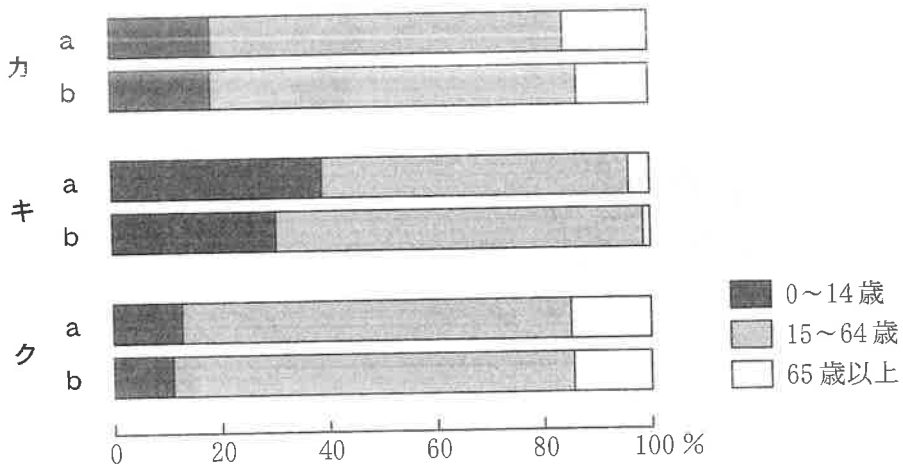
統計年次は2015年。World Urbanization Prospectsにより作成。

図 2

地理B

問 2 次の図3中のカ～クは、オーストラリア、韓国、ケニアのいずれかの国における、国全体の人口および人口第1位の都市の人口に占める、0～14歳、15～64歳、65歳以上の人口の割合を示したものであり、aとbは、国全体あるいは人口第1位の都市のいずれかである。オーストラリアの人口第1位の都市に該当する正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

15



統計年次は、オーストラリアが2016年、韓国が2018年、ケニアが2019年。
Australian Bureau of Statisticsの資料などにより作成。

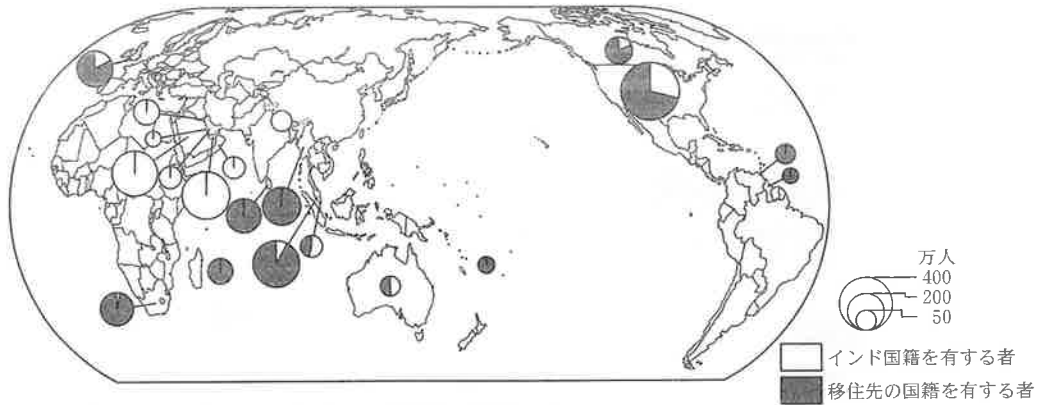
図 3

- ① カーa
- ② カーb
- ③ キーa
- ④ キーb
- ⑤ クーa
- ⑥ クーb

地理 B

問 3 次の図 4 は、インド系住民*の人口上位 20 か国とその国籍別の割合を示したものである。図 4 とそれに関連することがらについて述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

*インド国籍を有する者と、インド出身者またはその子孫で移住先の国籍を有する者の合計。



統計年次は 2018 年。インド政府の資料により作成。

図 4

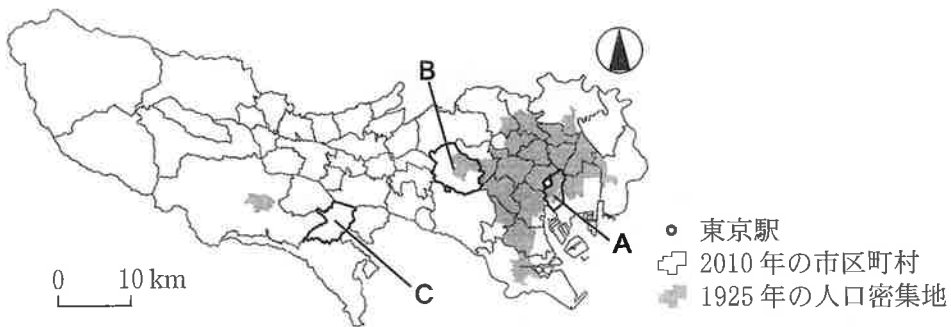
- ① インド系住民のうち、移住先の国籍を有する者は、英語を公用語とする国やイギリスの植民地であった国に多く分布する。
- ② 東南アジアやラテンアメリカには、第二次世界大戦以前に、観光業に従事するために移住したインド出身者の子孫が多く居住している。
- ③ 1970 年代のオイルショック以降に増加した西アジアのインド系住民の多くは、油田開発に従事する技術者である。
- ④ 1990 年代以降、インド国内の情報通信技術産業の衰退に伴い、技術者のアメリカ合衆国への移住が増加している。

地理B

問 4 大都市圏の内部では、人口分布の時系列変化に一定のパターンがみられる。

次の図5は、^{とうしよ}島嶼部を除く東京都における2010年の市区町村と1925年の人口密集地*を示したものである。また、下の表1中のサ～スは、図5中のA～Cのいずれかの市区町村における1925～1930年、1965～1970年、2005～2010年の人口増加率を示したものである。A～Cとサ～スとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

*1925年時点の市区町村のうち、人口密度が4,000人/km²以上のもの。



国勢調査などにより作成。

図 5

表 1

(単位：%)

	1925～1930年	1965～1970年	2005～2010年
サ	103.9	3.0	4.0
シ	6.3	-18.9	24.8
ス	2.6	65.3	1.2

国勢調査により作成。

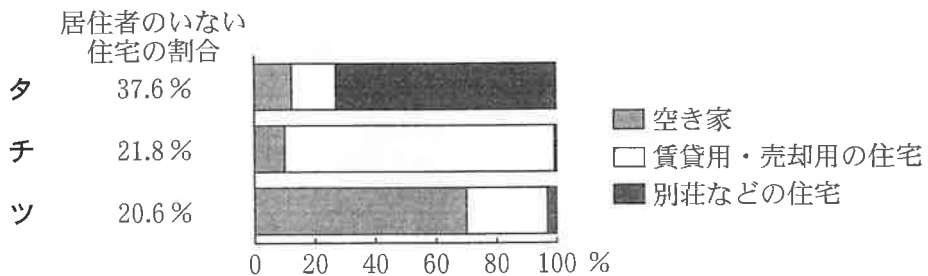
	①	②	③	④	⑤	⑥
A	サ	サ	シ	シ	ス	ス
B	シ	ス	サ	ス	サ	シ
C	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理B

問 5 近年、日本の都市や農村の多くで、居住者のいない住宅が増加している。次の図6は、日本のいくつかの市区町村について、居住者のいない住宅の割合とその内訳を、空き家*、賃貸用・売却用の住宅、別荘などの住宅に分けて示したものである。また、下の文E～Gは、図6中のタ～ツのいずれかの市区町村の特徴について述べた文である。E～Gとタ～ツとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

18

*人が長期間住んでいない住宅や取り壊すことになっている住宅。



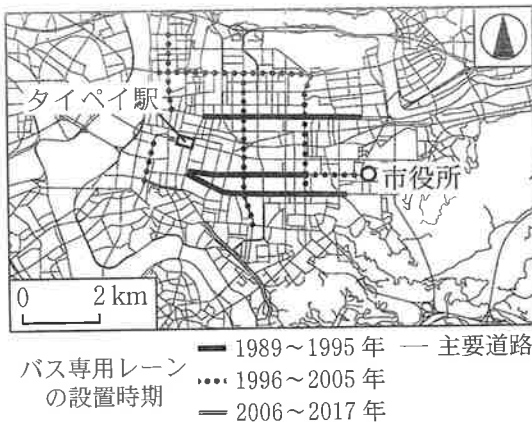
統計年次は2018年。住宅・土地統計調査により作成。

図 6

- E 観光やレジャーのために多くの人々が来訪する。
 F 高齢化や過疎化によって人口減少が進んでいる。
 G 転出者や転入者の多い大都市圏に含まれる。

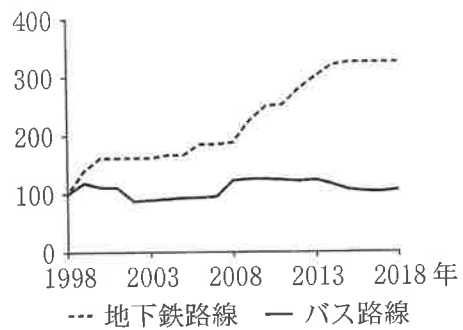
	①	②	③	④	⑤	⑥
E	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
F	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
G	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 急速に経済発展した台湾のタイペイ(台北)では、交通網の再編成が政策上の課題になっている。次の図7は、タイペイのバス専用レーンの分布を設置時期別に示したものであり、図8は、地下鉄路線とバス路線の長さの推移について、1998年の値を100とした指数で示したものである。図7と図8に関連することがらについて述べた下の文章中の下線部xとyの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19



タイペイ市の資料などにより作成。

図 7



タイペイ市の資料により作成。

図 8

タイペイの従来の都心部はタイペイ駅周辺であり、市役所周辺にも副都心が計画的に整備された。都心部・副都心の周辺におけるバス専用レーンは、主にx 都心部・副都心と郊外を結ぶ道路から順に整備されてきた。

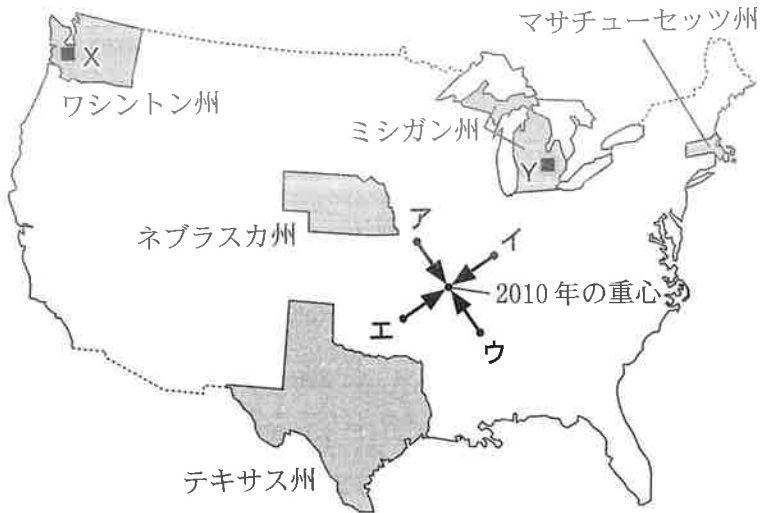
市民の移動にかかる環境負荷が小さい都市交通体系への再編が求められるようになり、2000年代半ば以降、y 大量輸送の可能な地下鉄路線が拡充してきた。

	①	②	③	④
x	正	正	誤	誤
y	正	誤	正	誤

地理B

第4問 アメリカ合衆国に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A 次の図1を見て、アメリカ合衆国に関する下の問い(問1～4)に答えよ。



U.S. Census Bureau の資料などにより作成。

図 1

問 1(1) 図1中のア～エの地点と矢印のうち、1950年の人口分布の重心と2010年の重心への移動方向を示した最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

(2) (1)で示された、1950年から2010年にかけての重心の移動が生じた要因として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 安価な労働力を指向した工場の進出と先端技術産業の成長
- ② 製鉄業や自動車産業の成長と雇用の増加
- ③ 大陸横断鉄道の開通と開拓の進展
- ④ 農村部から大都市圏への大規模な人口の移動

地理 B

問 2 次の表 1 は、図 1 中に示したいくつかの州における取水量の水源別の割合と使用目的別の割合を示したものであり、表 1 中のカ～クは、テキサス州、ネブラスカ州、マサチューセッツ州のいずれかである。州名とカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

22

表 1

(単位：%)

	水源別の割合		使用目的別の割合		
	地下水	地表水	工業用水	生活用水	農業用水
カ	61.3	38.7	31.3	3.1	65.6
キ	27.0	73.0	40.8	48.5	10.6
ク	33.8	66.2	58.6	14.2	27.2

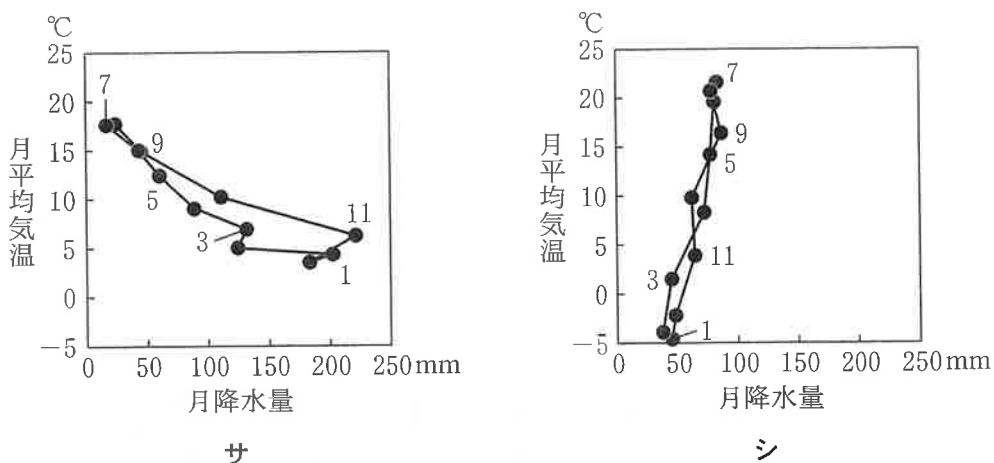
統計年次は 2015 年。USGS の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
テキサス州	カ	カ	キ	キ	ク	ク
ネブラスカ州	キ	ク	カ	ク	カ	キ
マサチューセッツ州	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理B

問 3 図 1 中のミシガン州とワシントン州は、ほぼ同緯度に位置しており、面積もほぼ同じである。次の図 2 中のサとシは、図 1 中の X と Y のいずれかの地点における月平均気温と月降水量をハイサーグラフで示したものである。また、下の表 2 中の G と H は、ミシガン州とワシントン州のいずれかにおける小麦とテンサイの年間生産量を示したものである。地点 X に該当するハイサーグラフとワシントン州に該当する作物の年間生産量との正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

23



気象庁の資料により作成。

図 2

表 2

	小麦(万ブッシェル)	テンサイ(千トン)
G	15,321	87
H	3,572	4,278

ブッシェルは穀物の計量単位で、1 ブッシェルは約 35 リットルに相当する。統計年次は 2017 年。USDA の資料により作成。

	①	②	③	④
ハイサーグラフ	サ	サ	シ	シ
作物の年間生産量	G	H	G	H

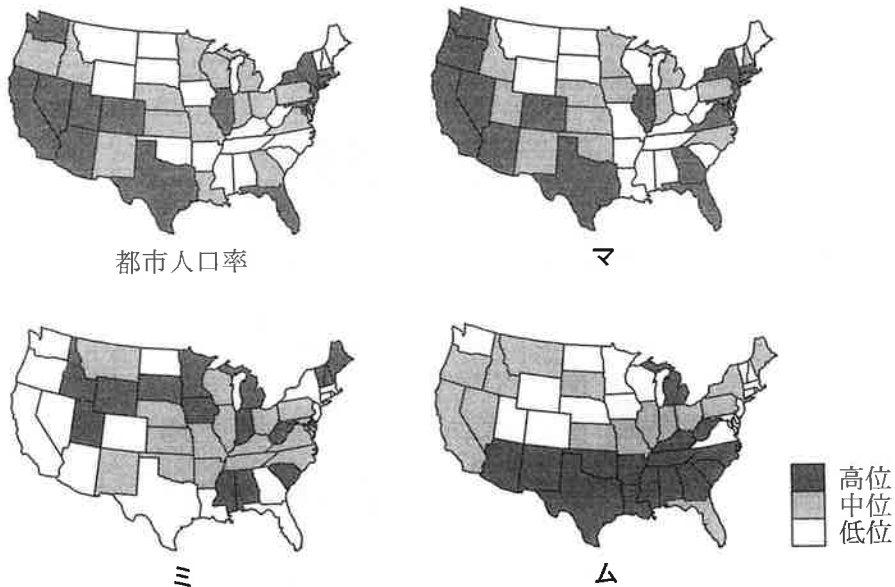
地理B

B アメリカ合衆国の社会と経済の多様性に関する次の問い(問5・6)に答えよ。

問5 次の図4は、アメリカ合衆国の各州*における都市人口率と、社会経済にかかわるいくつかの指標を示したものであり、図4中のマ～ムは、外国生まれの人口の割合、貧困水準以下の収入の人口の割合、持ち家率のいずれかである。指標名とマ～ムとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

*コロンビア特別区(ワシントンD.C.)を含み、アラスカ州とハワイ州を除く。



統計年次は、都市人口率が2010年、外国生まれの人口の割合、貧困水準以下の収入の人口の割合、持ち家率が2016年。

U.S. Census Bureauの資料などにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
外国生まれの人口の割合	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
貧困水準以下の収入の人口の割合	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
持ち家率	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ

問 6 次の図5は、2012年と2016年のアメリカ合衆国の大統領選挙における、各州*の選挙人**の数と選挙人を獲得した候補者の政党を示したものである。図5から読み取れることがらとその背景について述べた下の文章中の空欄ラとリに当てはまる語句の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26

*コロンビア特別区(ワシントンD.C.)を含み、アラスカ州とハワイ州を除く。
 **有権者が投票で大統領選挙人を選出し、この選挙人が大統領を選出する。一部の州を除いて、各州で最も得票の多い候補者が、その州のすべての選挙人を獲得する。



アメリカ合衆国連邦政府の資料などにより作成。

図 5

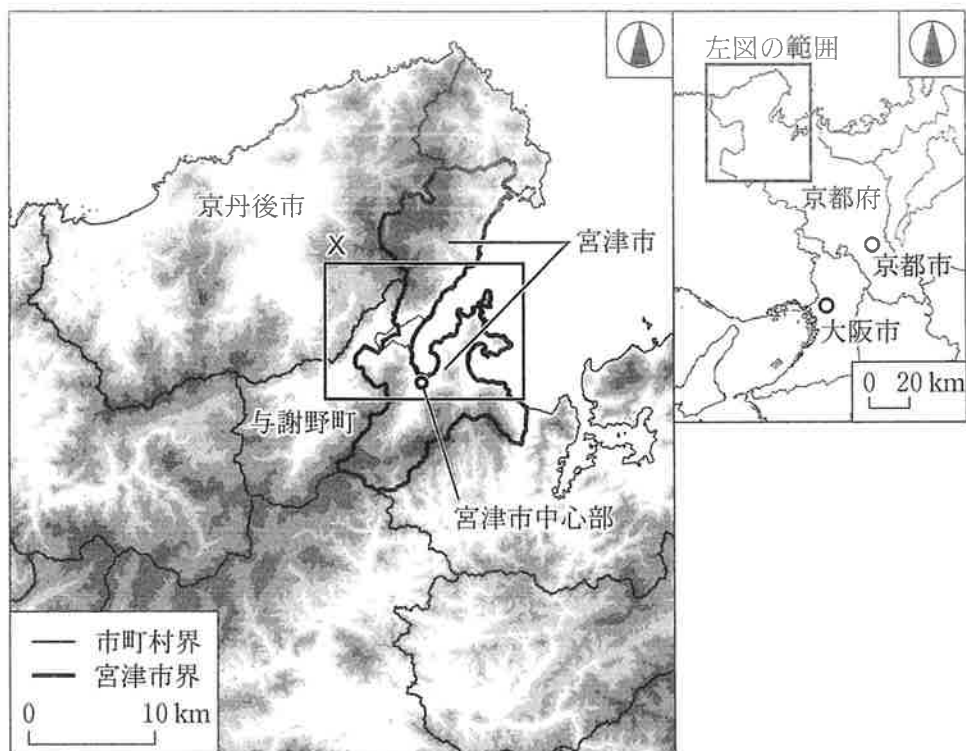
図5を見ると、両時点とも民主党の候補者が選挙人を獲得した州は(ラ)に多い。この要因として、地域の産業構造の特徴や有権者の社会経済的特性などがあげられる。五大湖沿岸の地域では、2012年の民主党に代わって、2016年には共和党の候補者が選挙人を獲得した州が多く分布する。これは、グローバル化の影響で衰退したこの地域の製造業について、共和党の候補者が(リ)政策を主張したことなどが大きく影響したと考えられている。

	①	②	③	④
ラ	南部や 中西部	南部や 中西部	ニューイングランド や西海岸	ニューイングランド や西海岸
リ	移民労働力を 増やす	工場の海外移転 を抑制する	移民労働力を 増やす	工場の海外移転 を抑制する

地理B

第5問 京都市に住む高校生のタロウさんは、京都府北部にある^{みやづ}宮津市の地域調査を行った。次の図1を見て、この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 20)

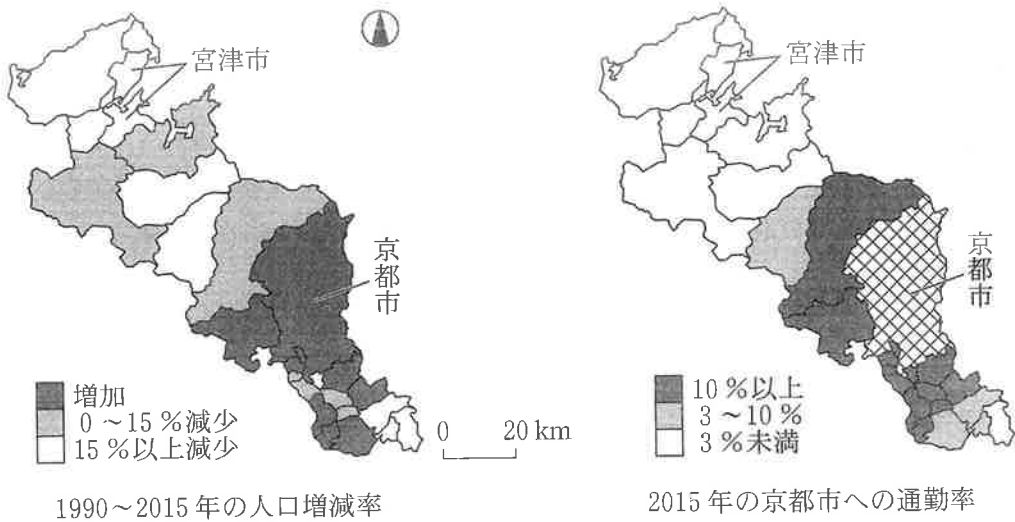


左図の陸地では、色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。
宮津市界の一部は水面上にある。
国土数値情報などにより作成。

図 1

問 1 タロウさんは、京都府における人口変化の地域差と京都市との関係調べるために、主題図を作成した。次の図2は、京都府の各市町村について、1990～2015年の人口増減率と2015年の京都市への通勤率を示したものである。図2から読み取れることがらを述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27



国勢調査により作成。

図 2

- ① 宮津市とその隣接市町村では、すべての市町村で人口が15%以上減少している。
- ② 京都市への通勤率が10%以上の市町村では、すべての市町村で人口が増加している。
- ③ 京都市への通勤率が3～10%の市町村の中には、人口が増加している市町村がある。
- ④ 京都市への通勤率が3%未満の市町村の中には、人口が増加している市町村がある。

地理B

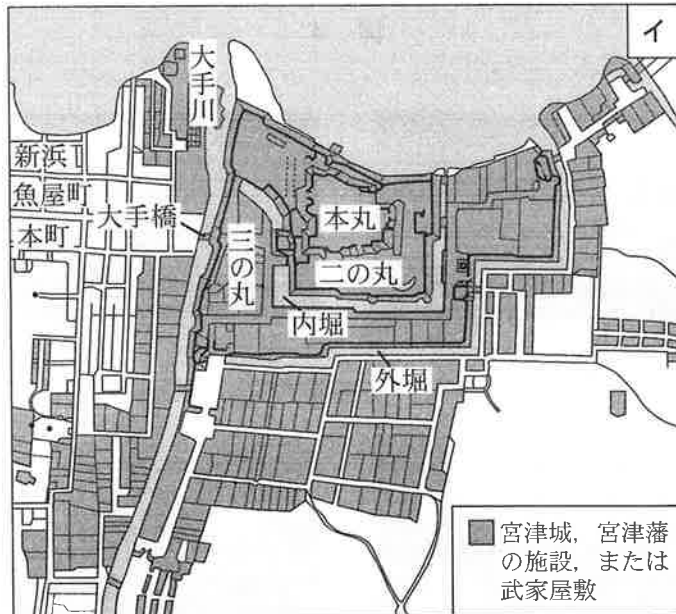
問 2 タロウさんは、宮津市の中心部が城下町であったことに興味をもち、現在の地形図と江戸時代に描かれた絵図を比較して、地域の変化を調べることにした。次ページの図3中のアは、宮津市中心部の現在の地形図であり、イは、アとほぼ同じ範囲の江戸時代に描かれた宮津城とその周辺の絵図を編集したものである。図3から読み取れることがらとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① しんはま新浜からほんまち本町にかけての地区には、江戸時代は武家屋敷が広がっていた。
- ② 体育館の北側にある船着き場は、近代以降の埋立地に立地している。
- ③ みやづ宮津駅からおおてばし大手橋までの道は、江戸時代から城下町の主要道であった。
- ④ 宮津城の本丸の跡地には、市役所を含む官公庁が立地している。



地理院地図により作成。

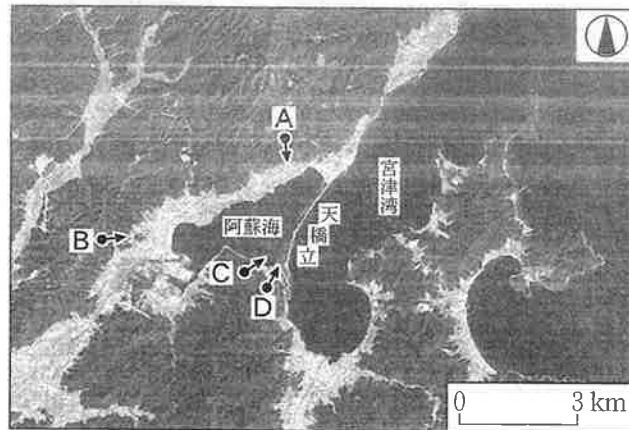


弘化2(1845)年に描かれた絵図を編集したものであるため歪みがある。
『宮津市史』をもとに作成。

図 3

地理B

問3 宮津湾と阿蘇海の間にある砂州は天橋立と呼ばれ、有名な観光地であること
 を知ったタロウさんは、様々な地点から天橋立の写真を撮影した。次の図4
 は、図1中のXの範囲を示したものであり、下の写真1は、図4中の地点A～
 Dのいずれかから矢印の方向に撮影したものである。地点Aに該当するもの
 を、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。 29



地理院地図により作成。

図 4



①



②



③



④

写真 1

問 4 天橋立近くの土産物店で丹後^{たんご}ちりめんの織物製品が数多く売られているのを見たタロウさんは、丹後ちりめんについて調べ、次の資料1にまとめた。資料1中の空欄カ～クに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

30

資料 1

●丹後ちりめんの特徴

- ・生地に細かい凹凸のある絹織物。
- ・しわが寄りにくく、風合いや色合いに優れる。
- ・主要な産地は京都府の京丹後市^{きょうたんご}と与謝野町^{よきの}で、冬季の(カ)季節風が生産に適する。



●丹後ちりめんの動向

- ・1960～70年代：豊富な労働力や広い土地を求めた京都市の西陣織^{にしじんおり}の業者から仕事を請け負い、生産量が多かった。
- ・1980～90年代：和服を着る機会が減少したことと(キ)な織物製品の輸入が急増したことで、生産が縮小した。
- ・2000年以降：洋服の生地や、スカーフ、インテリア用品などの商品開発を進めるとともに、(ク)により海外市場へ進出しつつある。

	カ	キ	ク
①	乾いた	安 価	大量生産
②	乾いた	安 価	ブランド化
③	乾いた	高 価	大量生産
④	乾いた	高 価	ブランド化
⑤	湿った	安 価	大量生産
⑥	湿った	安 価	ブランド化
⑦	湿った	高 価	大量生産
⑧	湿った	高 価	ブランド化

地理B

問 5 タロウさんは、宮津市北部の山間部にある集落で調査を行った。次の資料 2 は、ある集落の住民に対してタロウさんが実施した聞き取り調査の結果を整理したもの、その内容から考察したことをまとめたものである。タロウさんの考察をまとめた文として**適当でないもの**を、資料 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

31

資料 2

【聞き取り調査の結果】

●小学校(分校)の廃校

- ・かつては集落に子どもが多かったため、分校が設置されていた。
- ・廃校に伴い、集落の小学生は、遠くの学校に通うことになる。

●伝統的な文化や技術の継承

- ・春祭りで行われていた太刀振り神事が途絶えてしまった。
- ・集落にある植物を用いた織物や和紙がつくられてきた。

●都市と農村の交流

- ・NPO や地元企業などにより、棚田の保全が進められている。
- ・集落の周辺で、プナ林や湿地などをめぐるツアーが行われている。

●移住者の増加

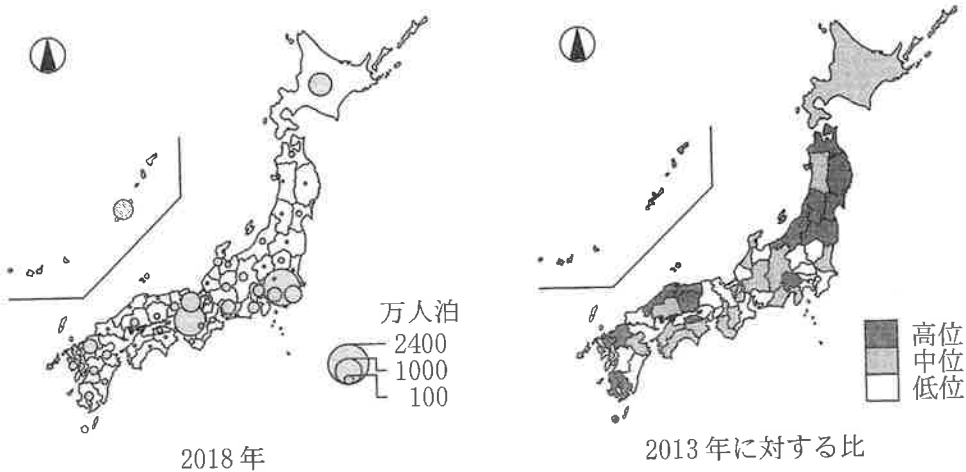
- ・米作りや狩猟を行うことを目的として移住してきた人がいる。
- ・移住者の中には、古民家を改修して居住する人がいる。

【考察】

- ① 小学校の廃校は、若年層の継続的な流出や少子化が背景にある。
- ② 住民の高齢化により、伝統的な文化や技術の担い手が減少している。
- ③ 自然環境への関心の高まりにより、都市と農村の交流が進められている。
- ④ 移住者の増加は、宮津市における人口の郊外化が背景にある。

問 6 天橋立で多くの外国人を見かけたタロウさんは、外国人観光客の動向を調べることにした。次の図5は、2018年の外国人延べ宿泊者数*と、その2013年に対する比を都道府県別に示したものである。また、下の文章は、図5から読み取れることがらとその背景について述べたものであり、空欄サには大阪府と沖縄県のいずれか、空欄シには下の文FとGのいずれかが当てはまる。空欄サに当てはまる府県名と空欄シに当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

*宿泊者数×宿泊数。



観光庁の資料により作成。

図 5

2018年の外国人延べ宿泊者数をみると、東京都が最多であり、次に多いのが(サ)である。また、2013年に対する比をみると、外国人延べ宿泊者数が少ない県で高位を示すところが多く、この背景として、(シ)外国人旅行者が増加し、外国人の宿泊地が多様化したことが考えられる。

F 温泉や農山漁村を訪れて体験型の観光を楽しむ

G ショッピングや大型テーマパークを楽しむ

- ① 大阪府—F ② 大阪府—G ③ 沖縄県—F ④ 沖縄県—G